

IBM Spectrum Protect

信頼性が高いバックアップとリカバリーのためのソリューション

ハイライト

- VMware 管理者向けのセルフサービス・リストア・ポータルとインターフェースにより、バックアップとリカバリーを簡素化
 - 組み込み済みの実績ある効率性によって、バックアップ・インフラストラクチャー・コストを最大 53% 削減¹
 - メディアを適切に組み合わせ、ディスク、クラウド、テープ、オブジェクト・ストレージなどのバックアップを最適化
 - 仮想環境、Software Defined Environment (SDE)、コア・アプリケーション、重要なワークステーションにおけるデータ保護を最適化
 - ポリシー・ベースのマルチサイト複製と柔軟なリストアの機能により、データを保護
-

バックアップ・システムのコスト、運用、機能を管理することは容易ではありません。今日のように、かつてないほど多くの情報を収集、処理、保管している状況においては、管理が困難であることは言うまでもありません。また、バックアップ管理者は、ますます厳しさを増すコンプライアンスの要求 (マルチモーダル・デリバリー・モデルなど)、インフラストラクチャーの複雑さの増大、IT 予算の抑制、サーベンス・オクスリー (SOX) 法や、EU 一般データ保護規則 (GDPR) などによって生じる規制やコンプライアンス要件の増加についてもプレッシャーを感じています。

IBM® Spectrum Protect は、物理環境、仮想環境、SDE、クラウド環境のいずれにデータがホストされていても、データ保護を簡素化します。IBM Spectrum Protect により、企業は、データの管理と保護のために適切なソフトウェアを選択できるほか、バックアップ管理の簡素化、効率の向上、スケラブルな容量、先進的な機能の利用を実現できます。

バックアップ管理の簡素化

バックアップの管理は、IBM Spectrum Protect Operations Center、VMware vSphere Client、その他のサード・パーティー製ソフトウェアで行えます。IBM Spectrum Protect Operations Center は、バックアップ管理者向けに画期的な可視性と使いやすさを実現して、必要となる専門知識のレベルを引き下げます。サーバー管理者は、VMware vSphere Client から個々の仮想マシンをリストアするか、IBM Spectrum Protect VMware グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を起動して、バックアップのスケジューリング、監視、実行が行えます。



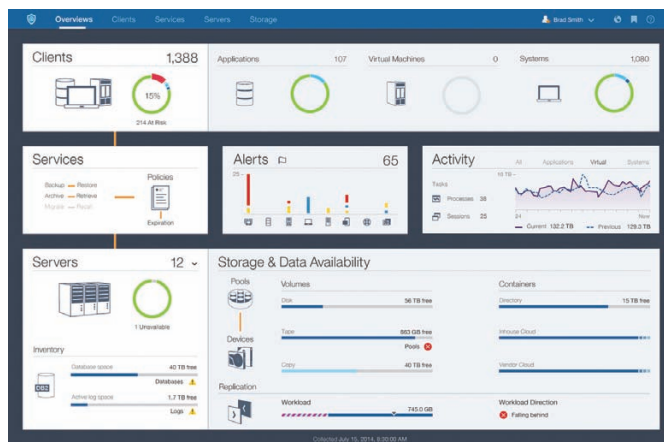
IBM Spectrum Protect のブループリントとサーバー自動構成スクリプトは、導入プロセスの自動化と、小規模、中規模、大規模の環境向けのベスト・プラクティスの統合により、導入にかかる時間の短縮と推測を手助けするよう設計されています。

シンプルなソリューション・バンドル (IBM Spectrum Protect Suite や IBM Spectrum Storage Suite など) では、管理が容易なライセンスによって、仮想環境、データベース、e-メール、エンタープライズ・リソース・プランニング用のスナップショットや一般的なバックアップ・エージェントを含め、IBM Spectrum Protect を素早く稼働できます。

組み込み済みのクラウド統合

IBM Spectrum Protect によって、安全かつ優れた費用対効果で、クラウドへのバックアップやクラウド内でのバックアップが容易に行えます。IBM Spectrum Protect のコンテナ・ストレージ・プールにより、ハードウェアやゲートウェイの追加なしで、IBM SoftLayer、IBM Cloud Object Storage(旧Cleversafe)、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Microsoft Azure Blob Storage などの一般的なクラウド環境で外部クラウドやオブジェクト・ストレージが使用可能になります。IBM Spectrum Protect のコンテナ・ストレージ・プールには、データの安全を確保するための暗号化のほか、スペースや帯域幅を効率良く使用するためのインライン重複排除機能が含まれています。

IBM Spectrum Protect は、Representational State Transfer (REST) アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) と OpenStack バックアップ・ドライバーも提供します。Front-safe ポータル・ソフトウェア (IBM から入手可能) により、IBM Spectrum Protect のマルチテナンシー、オンボーディング、課金が可能になります。IBM レジリエンシー・サービスと IBM ビジネス・パートナーは、クラウドにおける従量制のバックアップやリカバリー用に、多数のクラウド・ベースのデータ保護ソリューションを提供しています²。



IBM Spectrum Protect は、先進的なビジュアル・ダッシュボード、標準装備のアナリティクス、統合されたワークフロー自動化機能を提供して、バックアップ管理を大幅に簡素化します。

バックアップ・インフラストラクチャー・コストの削減

IBM Spectrum Protect は、バックアップ・インフラストラクチャー・コストを最大 53% 節約します¹。一般に、ストレージ・メディア、バックアップ・サーバー、データセンターの設置スペース、電力、冷却を節約できます。IBM Spectrum Protect の高性能な重複排除機能、圧縮機能、永久増分機能は連携して、バックアップ・ストレージ要件を削減します。

IBM Spectrum Protect の効率化機能は、ソフトウェアのみで有効になります。重複排除機能、暗号化、ネットワーク加速、クラウド・アクセスのために、ハードウェア・ベースのアプライアンスの追加は不要です。

コストの柔軟性を最大限に高めるために、IBM Spectrum Protect は、フラッシュ、ディスク、テープ、オブジェクト・ストア、パブリック・クラウドを含めた、バックアップ・データのための幅広いストレージ・オプションを選択可能です。

スケーラブルなパフォーマンス

あらゆる規模の企業が先進的なデータ保護機能を必要としています。管理対象サーバーが 50 台未満、もしくはバックアップ・データが 100 TB 未満の企業は、IBM Spectrum Protect ソリューション・バンドルのエンタープライズ・オファリングを選択できます。

IBM Spectrum Protect サーバーは、サーバー当たり数十億個のオブジェクトを管理するように拡張できるため、バックアップ・ワークロードが増えても中断や複雑さが増すことはありません。

データが増加した場合は、大規模なアプリケーションや仮想マシンのバックアップとリストアにかかる時間を短縮できる高度なエージェントとスナップショットで IBM Spectrum Protect バックアップを補強できます。例えば、IBM Spectrum Protect Snapshot は、500 個の VMware 仮想マシン・イメージをわずか 7 分間でバックアップできます³。

オンプレミスやクラウド内のいずれにホストされていても、バックアップ情報は、IBM Spectrum Protect サーバー間で複製できます。IBM Spectrum Protect Extended Edition には、1 次バックアップ・サイトのストレージ・スペース要件を大幅に軽減するポリシー・ベースのリモート複製が組み込まれています。より高速なデータ転送を必要とする企業は、IBM Spectrum Protect High Speed Data Transfer (オプション) を有効にすることで対応できます。IBM Spectrum Protect High Speed Data Transfer では、高遅延ネットワークや高パケット損失ネットワーク上で TCP より高速でデータを転送する、特許取得済みの IBM Fast, Adaptive and Secure Protocol (IBM FASP) テクノロジーを使用します。

「人は、データのバックアップを取りたくないがリストアを希望する、とは、よく使われる表現です。当社では、短時間でのバックアップと非常に高速なリストアの両方を、魅力的なプライス・ポイントで実現できます」

- Richard Spurlock 氏 (Cobalt Iron 社 CEO)

データ保護の最適化

IBM Spectrum Protect は包括的なソリューションです。クラウド環境、仮想化環境、SDE、コア・アプリケーション、リモート施設など、現在、そして次世代の環境に対応する先進的なデータ保護を実現します。IBM Spectrum Protect で管理しているデータは、安全に保管するためにオフサイトのリカバリー施設に簡単に複製できます。

バックアップが重要なものである一方、リストアは不可欠なものです。IBM Spectrum Protect は、1 次サイトとリモート・リカバリー・サイトからのリストアを迅速かつ柔軟に実現します。IBM Spectrum Protect は、個々のアイテム、複合システム、データセンター全体のリカバリーに役立ちます。リカバリー・シミュレーターは、システムを期待どおりにリカバリーできることを保証します。

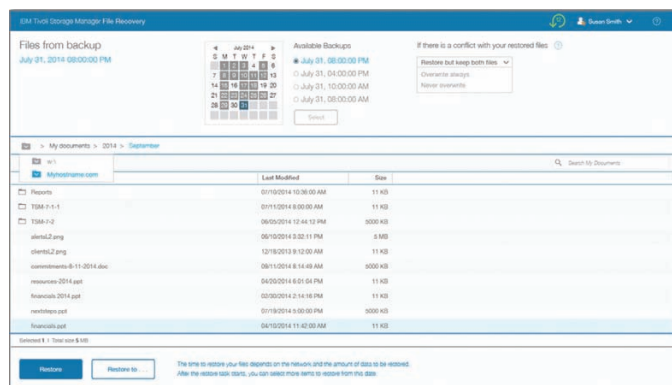
仮想マシン向けの IBM のデータ保護のメリット

機能	メリット	VMware	Hyper-V
新規仮想マシンのオートディスカバリー	仮想化環境のすべてのデータの保護を確保	•	•
セルフサービス・リストア・ポータル	データ、サーバー、アプリケーションの所有者は簡単にデータをリカバリー可能	•	
アイテム・レベルのリカバリー	個々のファイル、Microsoft Exchange メールボックス、e - メール、Microsoft SQL Server データベースの高速リカバリーを実現	•	•
アプリケーションの整合性のあるバックアップとリカバリー	アプリケーションのバックアップを確保して、リストア・プロセスを簡素化	•	•
コピー管理	単一の仮想マシンのスナップショットをデータのリカバリー、テスト、開発などに使用可能	•	•
ハードウェア・スナップショットとの統合	アプリケーション・パフォーマンスへの影響を抑えながら、スナップショットを高速化	•	
永久増分バックアップ	追加のバックアップ・システム容量のニーズを軽減	•	•
データ重複排除	仮想マシンやバックアップ・サーバーで高性能なスペース縮小を実現	•	•
無中断の単一パスのバックアップ	バックアップ時のアプリケーション・パフォーマンスの向上を支援	•	•
エージェントレス・サポート	導入の簡素化を支援	•	•
テープ・サポート	長期保管にかかるコストの削減を支援	•	•
瞬時アクセス/瞬時リストア	仮想マシンのリストア時におけるユーザーへの影響を軽減できるように支援	•	
単一パスでのデータ・ストア全体のリカバリー	すべての仮想マシンを含む、データ・ストア全体のほぼ瞬時のリカバリーを提供*	•	

* 仮想マシンのほぼ瞬時のリカバリーは、IBM Spectrum Protect for Virtual Environments で使用可能です。Windows デスクトップとラップトップ向けのほぼ瞬時のリカバリーは、IBM Spectrum Protect for Workstations で使用可能です。

VMware のツールや API との統合

機能	メリット
VMware vSphere Web クライアントのサポート	VMware 管理者は、使い慣れた vSphere インターフェースから、IBM Spectrum Protect を起動し、データの保護とリカバリーの操作を簡単に実行可能
VMware vSphere HTML5 Web クライアントのネイティブ・サポート	新しい VMware Clarity ユーザー・インターフェース (UI) 標準に基づき、特定のブラウザやプラットフォームに依存せず、ブラウザのプラグインのインストール/管理を必要としない一貫性のある UI が使用可能
VMware vCenter との統合	VMware 管理者は、バックアップとスナップショットの構成、スケジューリング、監視を簡単に実行可能
VMware vStorage API のサポート	サーバー、ストレージ、ネットワークのオーバーヘッドの軽減を支援



セルフサービス・リストア・ポータルにより、データ、サーバー、アプリケーションの所有者は簡単にデータをリカバリーできます。

仮想化された Software Defined Infrastructure

IBM Spectrum Protect for Virtual Environments と IBM Spectrum Protect Snapshot は、基礎となる物理リソースを共有するアプリケーションや操作に悪影響を与えることなく、ソフトウェアで定義された仮想環境に保管されているデータのバックアップとリカバリーを実行します。IBM は、永久増分バックアップやハードウェア支援スナップショットといったデータ保護オプションを選択できるようにしています。

柔軟なリストア

IBM Spectrum Protect における柔軟なリカバリー・オプションは、次のように、一般的なリストア要求を簡素化するよう設計されています。

- ・セルフサービス・リストア・ポータル (最初は VMware データ用)
- ・スナップショットからの個々のアイテム、データベース、ボリューム・レベル、データ・ストアのリストア
- ・Microsoft Windows と Linux のインテル・ベースのサーバー、Windows ワークステーションのバックアップ・データへのほぼ瞬時のアクセス

- ・スナップショットのコピー、参照、リカバリー
- ・1 次バックアップ・サーバーを使用できない場合の代替バックアップ・サーバーからの自動リストア
- ・シンプルな災害復旧監査、リカバリー・シミュレーター、ガイド付きの災害復旧

マルチサイト複製

IBM Spectrum Protect Extended Edition は、IBM Spectrum Protect サーバー間のバックアップ・データの複製を増分ベース、スケジュール、またはクライアント単位で可能にします。複製はポリシー・ベースであるため、オンサイトとオフサイトの保存ポリシーを異なるものに設定できます。さらに、重複排除されたデータの複製も実行できるため、ネットワーク効率が向上します。使用率が比較的低い時間帯にスケジュールすることもできるため、実働アプリケーションへの影響の軽減に役立ちます。

複製された環境では、リモート側の IBM Spectrum Protect サーバーをホット・スタンバイとして使用できます。または、2 台のアクティブな IBM Spectrum Protect サーバーを相互に複製することもできます。単一の複製ターゲットを使用して、複数のアクティブな IBM Spectrum Protect バックアップ・サーバーからのデータを統合することもできます。

IBM をお勧めする理由

IBM データ保護ソリューションは、優れたビジネス成果を達成する上で役立ちます。IBM は、アナリティクスを適用して、さらにインテリジェントなバックアップとストレージ管理のソフトウェアを提供しているため、ユーザーはグローバルなデータ可用性を実現できます。IBM は、技術革新を続け、複雑化しているバックアップとリカバリーの環境向けに、信頼できるテクノロジーの強固な基盤を土台に構築された市場初の機能を提供します。

IBM Spectrum Protect の概要

バックアップ・サーバー・コンポーネント

- **IBM Spectrum Protect** – データのバックアップとリストアを自動化、幅広いプラットフォームとストレージ・デバイスをサポート、データ・ストレージのスペース要件を削減、保護データのカatalogを維持
- **IBM Spectrum Protect Extended Edition** – 災害復旧管理、ノード複製、Network Data Management Protocol (NDMP) バックアップ、大容量テープ・ライブラリーのサポートを追加
- **IBM Spectrum Protect Operations Center** – IBM Spectrum Protect に付属しており、IBM Spectrum Protect 環境を一目で把握できるようにすることで、レポート作成を簡素化し、問題解決を迅速化
- **IBM Spectrum Protect High Speed Data Transfer** – 高遅延ネットワークや高パケット損失ネットワーク上でのスループットを向上
- **IBM Spectrum Protect for Data Retention** – 柔軟な保持と解放の処理により、長期的なレコード保管を実現
- **IBM Spectrum Protect for SAN** – ストレージ・エリア・ネットワーク (SAN) で接続された IBM Spectrum Protect サーバーとユーザー・システムは、データ・バックアップのためにストレージ・システムへのファイバー・チャネル接続を使用可能
- **Front-safe Cloud Portal** – IBM Spectrum Protect のマルチテナンシー、オンボーディング、課金を実現
- **Rocket Servergraph Professional** – レポート、アラート、監視により、マルチベンダー・バックアップ環境に関するリアルタイム情報を提供

仮想環境とコア・アプリケーション向けのバックアップ・エージェント – 高性能なオンライン・バックアップと柔軟なリストアを可能にして、アプリケーション可用性を向上

- **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** – VMware と Microsoft Hyper-V 仮想サーバー、ホストされているアプリケーションと連携
- **IBM Spectrum Protect for Mail** – IBM Domino や Microsoft Exchange と連携
- **IBM Spectrum Protect for Databases** – Oracle や Microsoft SQL Server と連携。IBM DB2 と IBM Informix は、IBM Spectrum Protect バックアップ・エージェントを含む
- **IBM Spectrum Protect for Enterprise Resource Planning** – SAP や SAP HANA と連携
- **DocAve Backup and Restore for Microsoft SharePoint Backup** – Microsoft SharePoint と連携
- **OpenStack IBM Tivoli Storage Manager バックアップ・ドライバ** – OpenStack ディストリビューションに付属

スナップショット管理

- **IBM Spectrum Protect Snapshot** – 大半の主要な IBM ストレージ・システムと IBM 以外のストレージ・システムにおいて、アプリケーション認識型、仮想マシン認識型、ハードウェア支援のスナップショットのバックアップとリカバリーの管理を実現
- **Rocket Device Adapter Pack for IBM Tivoli Storage FlashCopy Manager** – IBM Spectrum Protect Snapshot プラットフォームのサポートを拡張して、EMC、Hitachi、HP のストレージ・デバイスと、UNIX サーバーに接続された NetApp クラスタを組み込み

ベア・マシン・リカバリーとリカバリー・シミュレーター

- **IBM Tivoli Storage Manager for System Backup and Recovery** – IBM AIX 向けのベアメタル・リストア機能を提供する、システムのバックアップ、リストア、再インストールの包括的なツールを提供
- **Cristie Bare Machine Recovery software for Tivoli Storage Manager (TBMR)** – オペレーティング・システム・ファイルのバックアップを別に実行する必要なしに、IBM Spectrum Protect バックアップから迅速にリカバリー
- **Recovery Simulator for TBMR** – Cristie TBMR と IBM Spectrum Protect によって作成されたバックアップからマシンを正常にリカバリーできるかどうかをテスト
- **Recovery Simulator for Tivoli Storage Manager for Virtual Environments** – Cristie TBMR と IBM Spectrum Protect for Virtual Environments によって作成されたバックアップからマシンを正常にリカバリーできるかどうかをテスト

継続的なデータ保護

- **IBM Spectrum Protect for Workstations** – Windows オペレーティング・システムを実行するデスクトップとラップトップ・ワークステーションの自動バックアップを継続的に提供

階層スペース管理 (HSM) – 非アクティブ・データをポリシー・ベースでテープに移行できるようにして、ユーザーがファイルへのアクセス方法を変える必要がないように、ディスク上のディレクトリ構造をそのまま維持

- **IBM Spectrum Protect HSM for Windows** – Windows データを処理
 - **IBM Spectrum Protect for Space Management** – AIX と Linux のデータを処理
-

IBM Spectrum Protect ソリューション・バンドルの概要

	IBM Spectrum Protect Entry	IBM Spectrum Protect Suite – Front End	IBM Spectrum Protect Suite
利用可能なコンポーネント			
IBM Spectrum Protect	Standard Edition	Extended Edition	Extended Edition
IBM Spectrum Protect Snapshot		✓	✓
IBM Spectrum Protect for Virtual Environments	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect for Mail	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect for Databases	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect for Enterprise Resource Planning	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect のファイル・システムのためのバックアップ・アーカイブ・クライアント	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect for Storage Area Networks	✓	✓	✓
IBM Spectrum Protect for Space Management		✓	✓
Entry オプション	✓	✓	✓
Archive オプション			✓
IBM ProtecTIER オプション			✓

ライセンス

コンポーネント	仮想サーバーと物理サーバーの両方において、各保護サーバーにインストールされるコンポーネントごとにライセンスが必要	無制限	無制限
容量	無制限	バンドルの製品により保護される容量ごとのライセンス	管理対象のバックアップ・データに使用される容量ごとのライセンス。重複排除やその他の効率化機能を利用した後で測定

制限 (Entry オファリングのみ)

	IBM Spectrum Protect Entry	IBM Spectrum Protect Suite Entry – Front End	IBM Spectrum Protect Suite Entry
容量	1企業当たり最大 50 台の管理対象サーバー (そのうち最大 5 台を仮想ホスト・サーバーにすることが可能)	100 TB の管理対象バックアップ・データ (バンドルの製品によって保護されるキャパシティで測定)	100 TB の管理対象バックアップ・データ (重複排除やその他の効率化機能を利用した後で測定)
バックアップ・サーバー	Microsoft Windows、Linux x86 または Linux on IBM Power プラットフォームのみ	1企業当たり 2 台の IBM Spectrum Protect サーバー	1企業当たり 2 台の IBM Spectrum Protect サーバー

詳細情報

サポート対象のプラットフォームやシステム要件など、IBM Spectrum Protect の詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/systems/jp-ja/storage/spectrum/modernize-data-protection.html



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
August 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、DB2、Domino、FASP、FlashCopy、IBM Spectrum Protect、Informix、Power、 ProtecTIER および Tivoli は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

インテルは Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

本資料に含まれるパフォーマンス・データは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で関連法規を順守しなければならないものとし、IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も順守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。

¹ Butterfly Software を使用した IBM の評価に基づきます。

² IBM クラウド・マネージド・バックアップ・サービスについては、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/services/jp/ja/it-services/business-continuity/cloud-managed-backup IBM Spectrum Protect ベースのクラウド・サービスを提供している IBM ビジネス・パートナーについては、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/partnerworld/wps/servlet/ContentHandler/isv_com_dvm_techval_tivoli_BackupByTSM

³ パフォーマンス・データは、管理環境下での IBM 測定結果に基づきます。



Please Recycle